

和のしらべ ヒーリングフェスタ2012

2012年
10月6日(土)

■会場/琴ノ浦温山莊園【野外特設会場】

■開演/18:00(開場17:30、終演予定20:00)

★温山莊園当日無料開放/9:00~15:00

※雨天の場合、日時は下記の通り変更となります。
10月7日(日) 開演18:00(開場17:30、終演予定20:00)

■入場券/3,000円【全席前売り/自由席】

※愛好会会員は2,500円(但し、販売は温山莊園に限ります)



平成24年度和歌山県文化振興事業補助事業
「秋の遊宴」in 琴ノ浦 温山莊園

古代伝統芸能を現代風のビートで演じる秋の遊宴。
古来から受け継がれる鼓動は今、
「神話」から「新話」へ。

鼓神 【かぐら】 動、 樂、 タベ

天地雅楽



国指定名勝 温山莊園
「秋の遊宴」

■主催/温山莊園・秋の遊宴実行委員会 ■後援/海南市・海南市観光協会

お問い合わせ先

●琴ノ浦温山莊園 TEL.073-482-0201 ●海南省物産観光センター(JR海南駅構内) TEL.073-484-2326

チケット取扱場所

●琴ノ浦温山莊園 TEL.073-482-0201 ●海南省物産観光センター(JR海南駅構内) TEL.073-484-2326

●うるわし館(紀州漆器伝統産業会館) TEL.073-482-0322

神樂、鼓動のタベ

古代伝統芸能を現代風のビートで演じる秋の遊宴。
古来から受け継がれる鼓動は今、「神話」から「新話」へ。



第一部: 天地雅楽コンサート



天地雅楽 (てんちがらく)

日本古来の伝統音楽「雅楽(ががく)」を古典としてそのまま伝えゆくだけでなく、現代だからこそ出来る工夫を加えて生き生きとその存在感・可能性を示すために結成された雅楽ユニット。

現役で神職に仕える若い宮司・巫女・楽師がメンバーで、演奏形態により最少3名から融通無碍に構成人数を変え、打ち込み音源や異種楽器を組み合わせるクロスオーバースタイルで演奏を行う。

リーダー・久次米一弥をはじめ主要メンバーは大阪音大出身で、西洋音階と雅楽音階の違いを融和させるオリジナルメソッドを確立。

これに基づくオリジナル楽曲やカバー曲を「篠篥(ひちりき)」「龍笛(りゅうとうき)」「笙(しょう)」などの雅楽楽器を中心に、シンセサイザーなどの西洋楽器、中国・モンゴルの民族楽器と組み合せながら演奏表現し、正調雅楽から現代ポップスまで自由で魅惑的、優雅な現代「雅(みやび)」の世界を創り出している。



第二部: 日本の伝統芸能「神楽」トークショー

神事と民間芸能、二つの顔を持ち、神話の時代から脈々と受け継がれる神楽。この伝統芸能の歴史的価値と魅力を、当代一の神楽博士が大いに語る。北川氏は豊臣秀吉が活躍した時代の研究者としてわが国の第一人者である一方、「オーサカキング」をはじめとする大規模な歴史・文化イベントを数多く仕掛け、またOSK日本歌劇団の人気ミュージカル「真田幸村～夢・燃ゆる」など、いくつもの舞台作品も手掛ける。たくさんの歴史番組・時代劇の監修・時代考証も行ない、とりわけNHKの「その時歴史が動いた!」では、番組当初から企画構成にも深く関わり、大ヒット番組へと導いた。橋本氏の専門は民俗学・演劇学という、「パフォーマンス」をテーマとしたものであり、神楽からアニメに至るまで、その守備範囲には限りがない。そして、これらユニークかつ個性の強い学者から話を引き出すのは、NHKアナウンサーの頂点を極めた男、村上信夫。面白くならないわけがない!



歴史学者
北川 央 (ひろし)

1961年 大阪生まれ
神戸大学大学院文学研究科修了。
87年に大阪城天守閣学芸員となり、現在は同研究室主幹。この間、多くの大学、研究機関などで講師・研究員・委員を歴任。現在は、関西大学大阪都市遺産研究センター研究員、独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)伝統芸能伝承者養成研修講師などを兼ねる。
伊勢大神楽・江戸大神楽・水戸大神楽など、神楽に関する著作・論文多数あり。



民俗学者
橋本 裕之

1961年 大阪生まれ
早稲田大学第一文学部(演劇専修)卒業。国立歴史民俗博物館助教授、ミシガン大学客員教授、千葉大学教授、盛岡大学教授を経て、現・追手門学院地域文化創造機構特別教授、追手門学院大学社会学部教授。
NHK大河ドラマ『義経』の芸能考証を担当。民俗芸能研究を通じて神楽への造詣が深い。



司会進行
村上 信夫

1953年 京都生まれ
元NHKエグゼクティブアナウンサー。
『おはよう日本』『ニュース7』『ラジオビタミン』などを担当。現在はABCラジオ「村上信夫Osaka歴史ロマン」、文化放送「日曜はがんばらない」のパーソナリティの傍ら全国を回り、「嬉しい言葉の種まき」をしている。



第三部: 創作舞踊「真国神楽」「あまつたえ歌」

神楽を現代風解釈で創作した「真国神楽」。演ずるのは紀美野町真国宮にある「りら創造芸術高等専修学校」の生徒たち。

そして「あまつたえ歌」は神話の時代の紀美野・和歌浦周辺をイメージして創られた、新作オリジナルダンス。

脚本家、かむなぎ慶章が温山荘に何度も足を運び、得られたインスピレーションによって書き下ろされたシナリオに、紀美野の自然に感性を磨かれた「きんた・ミーノ」こと弓庭規生が曲を付け、ダンスマートカンパニー・アルカを率いる豊岡和子が演出・振り付けを加えた「21世紀の神楽」が華々しく展開される。そして、この壮大で難しいテーマの踊りを舞うのは、アルカのメンバーから選び抜かれた精鋭部隊である。



オリジナル楽曲・作曲
弓庭 規生

1960年 和歌山県海草郡紀美野町生まれ
「おかげ様プラザーズ」リーダー＆ボーカル。
ラジオのパーソナリティや和太鼓の講師も務める。



*写真はダンスマートカンパニー・アルカの過去の舞台公演のもので、イメージです。

公益財団法人
琴ノ浦 温山荘園
和歌山県海南市船尾370
Tel.073-482-0201
www.onzanso.or.jp

「琴ノ浦 温山荘園」は、ニッタ株式会社の創業者で、松山高商(現松山大学)の創立者でもある新田長次郎翁が、風光明媚なこの地に大正初期から20年の歳月をかけて造園され、東郷平八郎元帥が、長次郎翁の出身地(愛媛県温泉郡山西村)に因み命名されました。今は広く一般に開放され、潮の干満により池の水位が変わる潮入式池泉回遊庭園として四季を通じて多数の遊覧客の周遊の場として親しまれています。平成22年2月に庭園が名勝に、6月には建造物が重要文化財として国指定されました。更に、平成23年7月には公益財団法人に認可されました。

●JR海南駅前より和歌山方面バス10分「琴ノ浦」下車 / 駐車場(無料)はございますが、収容台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。